

社会福祉法人 愛寿会 グランドライフ衣山 火災防ぎょ・防災訓練 実施計画書



実施日時:平成24年11月9日(金)

10:00~11:00

実施場所:社会福祉法人 愛寿会

グランドライフ衣山

松山市衣山5丁目8番地1

松山市中央消防署

グランドライフ衣山

グランドライフ衣山火災防ぎょ・防災訓練実施計画

1. 目的

本訓練は、平成24年「秋季全国火災予防運動」行事の一環として、社会福祉法人愛寿会 グランドライフ衣山、消防防災機関及び地域住民が一致協力し、迅速かつ効果的な応急対策が実施できるよう、相互の連携力及び組織活動を強化するとともに、防災機関への協力体制を確立し、企業及び地域住民の防火防災意識の高揚を図ることを目的として実施するものである。

2. 訓練日時

平成24年11月9日（金） 10時00分～11時00分

(1) 訓練時間 10時00分～10時30分

(2) 講評等 10時30分～11時00分

3. 訓練場所

社会福祉法人愛寿会 グランドライフ衣山
松山市衣山5丁目8番地1

4. 実施機関

松山市中央消防署・社会福祉法人愛寿会 グランドライフ衣山

5. 参加機関及び人員と車両台数等（順不同）

松山市中央消防署

中指揮・中1ポンプ・中32梯子・中3工作・中2タンク・救急中1

23名 6台

（中1ポンプについては、事前広報及び訓練支援担当）

松山市消防団 味酒分団 15名 1台

松山市消防団 味酒分団（機能別消防団） 6名 2台

グランドライフ衣山（医師、看護師、職員、入所者） 50名

味酒地区女性防火クラブ 15名

衣山5丁目自主防災会 15名

合計 124名 9台

6. 訓練組織表

別紙1のとおり

7. 訓練想定等

(1) 訓練想定

平成24年11月9日（金曜日）10時00分頃、南海トラフを震源とする震度6強の地震が発生し、グランドライフ衣山（5階建）で建物被害及び人的被害が多数発生した。入所者は安全な場所への避難が急務な状況となり、自衛消防隊、自主防災会及び機能別消防団の避難誘導員の先導により安全な地上（救護所）へと避難する。

なお、建物の損壊等により屋内からの避難ができない入所者が3階に1名、4階に1名、5階に2名、取り残されている中、地震により3階居室から火災が発生した状況である。

(2) 気象状況

【天候：晴れ】【風向：南西】【風速：4m】【気温：15℃】【湿度：30%】

8. 訓練の主眼

この訓練では、グランドライフ衣山と行政機関が一体となり、実際の災害状況に即した対応を行い、相互の連携・協力体制強化に重点を置くとともに関係機関と自主防災組織の防火防災意識の高揚を図ることを主眼とする。

9. 訓練重点項目

- (1) グランドライフ衣山関係者による初動体制の確立
- (2) 公設消防隊、グランドライフ衣山関係者及び自主防災組織との連携体制の確立
- (3) 迅速な情報収集活動及び的確な現場指揮体制と部隊活動の運用

10. 訓練活動内容

- (1) 訓練実施要領（タイムテーブル） 別紙2のとおり
- (2) 訓練内容
 - ・ 負傷者救護、搬送訓練
関係機関による建物内からの負傷者救護及び搬送・救出（自衛消防隊及び衣山5丁目防災会）
 - ・ 救護所の設置及び応急手当等の訓練（自衛消防隊・衣山5丁目防災会）
 - ・ 避難誘導訓練
入院患者・外来者の避難誘導及び従業員の避難訓練
 - ・ 救護訓練
トリアージ訓練（グランドライフ衣山医師及び看護師・中央消防署救急隊）
救護活動の支援（自衛消防隊・味酒地区女性防火クラブ・衣山5丁目防災会）
先着救急車及び救急隊員による救護訓練（中央消防署救急隊）
 - ・ 現場指揮本部設置、運営訓練（中央消防署指揮隊）
 - ・ 要救助者の救出訓練

- 3連梯子による救出訓練（中央消防署タンク隊）
- 都市型ロープレスキューによる救出訓練（中央消防署救助隊）
- 梯子車による救出訓練（中央消防署はしご隊）
- ・火災防ぎょ訓練
- 建物内の初期消火訓練（自衛消防隊）
- 消防車両による消火訓練（中央消防署タンク隊・味酒分団）
- (3) 訓練関係図面等 別紙3～別紙9のとおり

11. 訓練終了

現場最高指揮者の指揮により訓練を終了とする。
(アナウンス及びサイレン)

12. 終了式

- (1) 講評 松山市中央消防署
署長 宮内 浩
- (2) 謝辞 社会福祉法人 愛寿会 グランドライフ衣山
施設長 海田 益久

13. その他

- (1) インフルエンザ等の流行により施設が使用できない場合、又は当日荒天の場合は、午前7時に訓練実施の有無を決定し、各関係機関に連絡する。(順延しない。)
- (2) 出動車両は、赤色灯及びサイレンを使用して交通安全に留意し実施する。
なお、無線交信については3チャンネルを使用する。
- (3) 付近住民に対する事前広報は、中1ポンプ車にてマイク広報を実施する。
- (4) 訓練中の災害出動はなし。中央署留守隊、応援隊にて災害対応する。